

平成 19 年度国土施策創発調査

中部地域における環境と経済、社会の
統合的向上モデル検討調査報告書

平成 20 年 3 月

環境省中部地方環境事務所

はじめに

平成 18 年 4 月に策定された第三次環境基本計画においては、今後の環境政策の展開方向の一つとして「環境的側面、経済的側面、社会的側面の統合的な向上」を掲げています。これは、持続可能な社会を構築していく上では、環境を良くすることが経済を発展させ、経済が活性化することによって環境も良くなるような環境と経済の関係（環境と経済の好循環）を生み出すとともに、地域コミュニティの再生を通じて環境保全の取組とコミュニティの活性化との間に好循環を創り出すことを目指す必要があるというものです。

中部地域は、中部山岳地帯の高山地帯から伊勢湾・富山湾などの海域まで、多様な環境資源に恵まれている一方、世界的な自動車産業地帯を抱え活発な経済活動が展開されている地域です。また、環境をテーマとした愛・地球博を成功させ、さらには生物多様性条約第 10 回締約国会議（COP10）の開催を目指すなど、環境保全を核にした地域づくりの機運も高まっています。

こうした環境的側面、経済的側面、社会的側面での優れた要素を有している中部地域は、環境保全の取組を通じて経済を発展させ、地域社会の活力を高め、それがまた環境保全の取組を活発にさせるという好循環を実現させる可能性を大いに有している地域と考えられます。

本調査では、この中部地域の地域特性や環境面での特性を分析するとともに、自治体、企業やNPO等が地域の環境保全の課題に取り組んでいる特徴的な事例を収集し、こうした広範な事例の中から、中部地域の特性を生かして環境と経済、社会の統合的な向上を目指すモデルを示すことを試みました。

この「環境と経済、社会の統合的な向上モデル」は中部地域での実際の取組事例を基としておりまして、今後このモデルを踏まえて更に詳細な分析・検討が重ねられることにより、中部地域における持続可能な地域づくりに向けた、環境と経済、社会の統合的な向上を図っていくための方策が描かれるものと考えています。

最後になりましたが、本調査の実施に当たりましては、「中部地域における環境と経済、社会の統合的な向上モデル検討会」の千頭聡座長をはじめとして各委員の皆様にご多大なるご尽力を賜りまして、心から厚く御礼申し上げます。

環境省中部地方環境事務所

目次

序章 調査の概要	1
1. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査概要	1
2. 本調査で検討する「環境と経済、社会の統合的向上モデル」の考え方 ...	2
(1) 本調査が目指す「環境と経済、社会の統合的向上モデル」の姿	2
(2) モデルで検討する経済的側面・社会的側面の向上	2
第1章 中部地域の地域特性と環境特性	3
1-1 中部地域の地域特性	3
1. 地勢・気象条件	3
(1) 地勢	3
(2) 気象条件	4
2. 人口構造	6
(1) 人口	6
(2) 世帯	8
3. 市街地・都市圏構造	9
(1) 市街地構造	9
(2) 都市圏構造	11
4. 交通	14
(1) 交通ネットワーク	14
(2) 交通手段分担率	15
(3) 貨物流動	16
5. 産業	17
(1) 産業構造	17
(2) 工業	18
(3) 農業	20
(4) 観光	23
1-2 中部地域の環境特性	25
1. 自然環境	25
(1) 植生	25
(2) 森林	27
(3) 自然公園	29
2. 水環境	30
3. 大気環境	31

4.	交通環境	32
5.	廃棄物・リサイクル	33
	(1) 廃棄物排出量	33
	(2) リサイクル率	36
	(3) 最終処分場	37
6.	地球環境（地球温暖化）	39
	(1) CO ₂ 排出量	39
	(2) 自然エネルギー	41
1-3	中部地域の環境対応等の動向	43
1.	中部地域の沿革と環境問題	43
	(1) 各地域の沿革	43
	(2) 中部地域の環境問題	49
2.	中部地域の環境対応の動向	52
	(1) 各県の環境政策の動向	52
	(2) 産業界の取組動向	65
1-4	中部地域の特性のまとめ	71
1.	中部地域の環境特性のまとめ	71
	(1) 特徴的な環境問題	71
	(2) 環境資源からみた特性のまとめ	72
2.	地域別特性のまとめ	75
第2章	環境保全の取組事例調査の結果	78
2-1	取組事例の類型化	78
2-2	主な事例の分析	79
1.	選定基準	79
2.	ヒアリング調査の結果	80
	(1) 低炭素社会への転換	80
	(2) 資源循環利用システム	82
	(3) 自然の価値の保全・活用	84
	(4) 森林・水環境の保全	84
	(5) 環境保全活動の価値の創出	86
第3章	中部地域で可能な統合的向上モデル	87
1.	中部地域で可能な統合的向上モデルの類型整理	87
2.	中部地域で可能な統合的向上モデル	88
	(1) 低炭素社会への転換	88
	(2) 資源循環利用システム	94
	(3) 自然の価値の保全・活用	98

(4) 森林・水環境の保全	100
第4章 中部地域における統合的向上モデルの発展方向	104
4-1 地域類型別のモデル展開の方向	105
1. 山間地域	105
(1) 中部地域における山間地域の特性	105
(2) 山間地域におけるモデル	106
2. 農村地域	109
(1) 中部地域における農村地域の特性	109
(2) 農村地域におけるモデル	110
3. 都市地域	113
(1) 中部地域における都市地域の特性	113
(2) 都市地域におけるモデル	114
4-2 地域間連携によるモデルの発展方向	118
1. 中部地域の特性と地域間連携の可能性	118
2. 地域間連携による統合的向上モデルの発展	118
(1) 山間地域のモデル発展の課題と必要な地域間連携	118
(2) 農村地域のモデル発展の課題と必要な地域間連携	119
(3) 都市地域のモデル発展の課題と必要な地域間連携	120
(4) 流域における連携	121
3. 中部地域における統合的向上モデル	121
4-3 中部地域の環境と経済、社会の統合的向上に向けて	124
(1) モデルに基づく各地域における取組の促進	124
(2) 環境と経済、社会の統合的向上の実現のために	125
資料編	127
(1) 中部地域における環境と経済、社会の統合的向上モデル検討会	127
(2) 主な取組事例リスト	128
(3) ヒアリング調査結果	143